

R2 浅科中学校グランドデザイン

諸教育の充実

- 【教育計画の整備充実】
- 新CSへ向けて
 - ・キャリア教育と総合的な学習の関連性
 - ・指導と評価の一本化
- ☆特別支援教育（UD化と自立活動）
- ☆道徳科とGWTの推進
- ☆防災安全教育
- ☆人権同和教育
- ☆生徒会活動
- ☆部活動 等

《佐久市学校教育の目指す子ども像》

夢や希望をもって輝き、ともに生きる子ども

《学校教育目標》

「志高錬成」

～志を高く持ち、よりよい成果を得るため粘り強く自分を鍛える～

（目指す生徒像）

- 明るく豊かな生活を創り上げていく生徒
- 自分の考えを主体的に追究・発信する生徒
- 仲間の良さから学び、互いに高めあう生徒

郷土と歩む

- ☆信州型CSを中核とした学校づくり
- 浅科小中CS推進委員会
 - ・小中連携（小中職員会）
 - ・外部講師の活用
 - ・学習ボランティア
- ☆総合の日（地域体験学習）
- ☆中山道宿場太鼓
- ☆地域の方との懇談会
- ☆地域への発信・協力（生徒会・総合・部活動）
- ☆PTAとの連携

＜重点目標＞

他との関わりを深め、発信できる生徒の育成

～「ひと・もの・こと」との関わりを通して、自己のあり方を見つめさせる指導と支援～

重点指導1

- 《「認め合い・支え合う集団づくり」の推進》
- ・水曜日午後の共に活動する時間「浅科タイム」の活用。生徒会・学級活動を通して発信力を高める。
 - ・「共に関わる時間」を意識した授業の展開。「関わる場」「発信」を位置づけることで、メリハリのある学習活動の推進。
 - ・グループワークトレーニングによる道徳教育の推進と人間関係の構築。
 - ・アセスを活かした学級経営結果を学級経営に反映させる。研修の実施し、生徒理解の手法として活用。

重点指導2

- 《学力・発信力向上への取組》
- ・「授業がもっとよくなる3観点」の「ねらい」「見とどけ」に焦点を据える。
 - ・「見える学力」の向上のために、各学年CRTを実施。全国学調を加え、分析し、授業に反映させる。
 - ・重点教科を決めだし、指導者を招聘し、授業を公開して授業改善の方向を明確にする。
 - ・同僚性、小中連携をいかした「見合う授業」による授業力の向上。
 - ・アウトプット型の朝読書と学校生活を通じた英語力向上の推進

重点指導3

- 《生徒指導体制の充実》
- ・基本姿勢として「生徒へ寄り添い」をキーワードに、情報共有やチームによる支援体制の確立を進める。
 - ・「連携」をキーワードに据えた欠席者の長期化対応。いじめ不登校COと生徒指導主事との連携を中核とした支援の推進。
 - ・「定期副担任者会」および「相談の時間」の位置づけにより、生徒変化の前兆を把握し、予防的対応。
 - ・発達支援および特別支援教育に関する研修の充実。

重点指導4 《凡事徹底…自立する心の育成へ向けて、授業に集中できる環境づくり》

- 「挨拶」…明るい挨拶を通して、心のネットワーク作りの推進。挨拶の交わし合える学校づくりの取組。
- 「歌声」…仲間との協調性を通して、合唱のよさを体感する歌声の響く学校づくりの推進。
- 「清掃」…自らの手で環境を整え、清潔で気持ちのよい学校づくり。温かさや優しさの感じる学習環境。
- 「食事」…五郎兵衛米を代表とする地域食材を食することで、先人・生産者への感謝を忘れない学校。

教師としての資質の向上

- 素材研究・教材研究・教科研究・グループ研究・全校研究等を通して、授業力向上を目指す教師
- 子どもに寄り添い、子どもの声を聞き取り、生徒と共に歩む教師
- 服務規律の厳守・綱紀肅正に努め、教職公務員としての重責を認識し校務に臨む教師